



外山 正利 議員

■町有地区公民館の敷地借地料を無料化しては
■税外負担の軽減をすべき
■住民基本自治条例制定を検討しては

町長

□町有地・民有地を有償で貸借している分館との整合性を含め検討する
□住民基本自治条例の制定の効果問題点整理し検討する

議員 都市計画税をLED交換に充当してはどうか。

町長 都市計画税の使用については町民の皆様にご理解いただけよう、議会への説明と広報等で知らせる。防犯灯・街路灯・公共施設・用途・管理形態・費用対効果など検討しLED化推進の判断をして行く。

議員 町有地区公民館の敷地借地料の無料化にはどうか。有償と無償の違い

は。

町長 当町の公民館55分館のうち町公共施設を分館としている1館を含め16分館が町有地を使用している。その経過はさまざまで、土地を有償で貸与しているのは1分館のみである。24分館では民有地に借地料を支払っている。町有地借地料を有償で貸借されている分館との整合性を含め検討する。

議員 普通財産賃貸料の基準は。

町長 契約並びに財産の取得、管理及び処分に関する条例において行政財産の土地・建物・動産の使用料基準を定めている。土地価格の4%に相当する額と定めている。

議員 全会計の行政財産における土地貸付や使用許可の実態は。

町長 25年度で貸付または使用許可した財産は一般会計所管財産のみである。貸付料決算額は電柱・電話柱敷地など貸付料86万余り、

また光ファイバー等貸付料は、1,040万円余りで、使用料基準に従って納付いただいている。

議員 税外負担の軽減をすべきではないか。

町長 町内会の申請により上限5万円の支援を行っている地域づくり振興補助金を活用し、税外負担の軽減につなげていただければと考えている。

議員 住民基本自治条例制定を検討しては。

町長 条例案の策定プ

ロセスや制定の効果、問題点整理しながら検討する。



地区公民館

他の質問

●町有財産の適正な管理監督における格差とも思える無料貸借どう感じているのか

■ハザードマップ作成進行状況は
■地方創生とバス運行費の利用は



佐藤 正 議員

町長

□担当課が連携し、ハザードマップ作成を推進する
□10月からデマンドタクシーを試験運行する

議員 ハザードマップ作成進行状況は。

町長 今年4月、町内の地区自主防災組織連絡協議会が結成された。その活動の一環として今年度は21地区で危険箇所や避難経路などを討論・検討し、防災マップ作成を進めている。防災担当の総務課、要援護者支援担当の福祉課が連携し、次年以降もハザードマップ作成を積極的に推進する。

議員 中小企業経営力強化・人材育成強化の施策は。

町長 大工職人の力を向上させ担い手の増加を図り、若手大工職人を雇用し、育成・指導する事業の補助金に26年度には23件申請があった。しかし、当町の若手の職人が激減。人材育成強化と計画的な後継者育成施策を講ず

る必要がある。

議員 当町の地方創生・バス運行費の利用は。

町長 当町では利用者利便の向上、東西循環線の新設、料金の定額化・無料化など交通弱者の通院・通園に配慮

したバス運行に努めてきた。10月から路線バス運行経路から離れている13集落を対象に、週1回乗り合いデマンドタクシーを試験運行する。「ふるさと集落生活圏」の実施は要領等が明らかになったら、

検証していく。
議員 林道2路線を町道として冬期間通行の利用は。
町長 除雪にあたっては町内の広域農道や林道も含めて優先度や頻度を決定し実施する。



林道矢ノ沢・川舟沢線

※デマンドタクシー……通常のタクシーと異なり、予約していただいた方を順番に迎えに行き、低料金で目的地まで送迎する他の人との乗合タクシーです。